

令和 7 年 11 月 26 日

北秋田市議会
議長 堀部 壽 様

第 C 班班長 佐藤 文信

議会報告会実施報告書

議会報告会を下記のとおり実施したので、北秋田市議会報告会実施要綱第 10 条第 1 項の規定により報告する。

記

日 時 令和 7 年 11 月 16 日（日） 午前 10 時～

場 所 合川公民館

市民参加者 6 名

第 C 班議員名（班長）佐藤 文信
（司会）久留嶋 範子
（記録）佐々木 正史
（報告）小笠原 寿

添付書類 会議記録

<次第>

1. 開会あいさつ
2. 議会報告
3. 質疑応答
4. 意見交換会
5. 閉会あいさつ

質疑応答 (要約)

質疑 (意見・要望・提言等)	
<p>Q 成田・・秋北バスの運行効率を見ると悪く見えるので、補助の在り方を再考するべきで既存資源の活用。又、公共事業入札の金額を公表してほしいし、説明が不足。 議会の答弁で研究や検討するとの文言が使われるがその後の対応が無い。固定資産税評価について。路線価が下落しているにも関わらず評価に乖離があるが説明必要。</p>	<p>午前10時 定刻開始 A・・公共交通については議題としたい地域公共交通計画に基づく再編・既存資源活用を検討中、住民意見を今後の議題としたい。</p>
<p>Q 吉田・・鳥獣害の被害が激増しているが、猟友会の高齢化から人手・箱罠の不足がある。国の「熊被害対策パッケージ」案の紹介と地域での具体的対応（捕獲体制・報酬増額・ITC活用・周知徹底）への期待と要望。道の駅について、7号線の交通量を見ると必要性を感じないし、子供から大人までの意見を聞かなければ。また、当初予算から今般の予算の大幅な増額について費用内訳と財源に対する説明不足と住民説明会が必要。</p>	<p>A・・熊対策については国からのパッケージを踏まえ、捕獲強化・報酬増・電気柵・ICT導入・周知強化を進める意向。猟友会員の不足は課題。 費用内訳については、道の駅本体部分で建築で21.8億、土木部分で3.5億、設計1.1億、用地2.6億その他管理運営。大太鼓の館関連では、改修設計費合わせて4.5億。財源については、国庫補助12.2億、地方債（過疎債）16.2億、一般財源が5.3億と説明。</p>
<p>Q 松岡・・道の駅の是非について再考が必要。空港や北欧の杜の傍が良いと思う。</p>	
<p>Q 成田・・熊対策として、熊の生態の理解や個体数の確認が必要。ふるさと納税の使い道は子供や医療関係に重点配分を希望。</p>	<p>A・・ふるさと納税は寄付者指定と市長一任と混在しており、一般財源に組み込まれていることから、使途明示は今後の課題。</p>

議会報告会 C 班 会議記録

質疑（意見・要望・提言等）	
<p>Q 三浦・・・下水道料金は上水道料金の 75%が請求されているが、計算根拠が不明瞭。浄化槽等の不公平感が有るので納得のいく説明が欲しい。</p> <p>Q 吉田・・・果樹伐採補助、電気柵、刈払いなどの制度利用の周知が不十分との指摘。</p>	<p>A・・・下水道料金については、合併の統一化や浄化槽等の構造的差異があるため、個別の算定方法の説明が必要。</p> <p>午前 12 時終了</p>